



令和3年4月28日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心をもち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
- ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
- ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

拍手で仲間を勇気づける～尾倉中の伝統こそ北九州市No.1！

22日(木)は代議・専門委員会でした。自己紹介をする生徒に拍手が送られました。23日(金)は「読書の日」でした。みんなの前で、本を紹介する友達に温かい拍手が送られました。1・2校時は坪井先生の道徳の授業が1年生の2学級で行われました。自分の考えを発表する友達に拍手が送られました。先生も多くの学校で授業をしてきましたが、尾倉中のように自然に拍手が湧く学校というのはほとんどありませんでした。

自分の考えを述べたり、説明したりする際には、勇気がいるものです。ところが、尾倉中学校では、指名された生徒が説明をし終わると、すぐにみんなから大きな拍手がわき起こります。「説明してよかった」「聞いてくれてうれしい」という気持ちになります。発表者だけでなく、聞いている生徒も、この教室では安心して発言できると感じて、「今度は自分も」というように勇気もちます。

拍手は、一人一人が大切にされるために、なくてはならないものなのです。「拍手で仲間を勇気づける」尾倉中の生徒に思わず笑顔になりました。

<まとめ>拍手は発言した人を勇気づけると同時に、聞いている人にも送られている・・・。



拍手は、授業や学級活動、行事には欠かせないものです。「拍手=思いやり」と言ってもいいですね。先生は担任の時、「1番大切なものは命」「2番目は拍手、思いやり、優しさ」を大切にしていました。数年前、「みんなのためのルールブック～あたりまえだけどとても大切なこと～」という外国の教育書で、「がんばった友達やお世話になった人には拍手をしよう。」という項目がありました。拍手は手軽にでき、思いやりを表す手段です。

では、ここで拍手について考えてみましょう。次のことに気を付けて、「拍手」をしてみませんか？

- 話せなくても拍手はできる。 ●細かく 速く 元気よく。 ●手の合わせ方。 ●いつ拍手をするのかを考える。 ●がんばった友達がいたら拍手。 ●意見が同じだと思ったら拍手。 ●お世話になった人に最後に拍手。(講演会など) ●ゲストティチャーなど来賓の方を出迎える時に拍手 ●素直に反省できたら拍手 ●たかが拍手、されど拍手。 です。

こうした一步一步の積み重ねです。特に、「自信をつけていく」、「更に自分の力を高めていく」た

めには、まさに拍手や握手、感謝の言葉など、お互いを認め合う行動の積み重ねが必要だと思えます。自然に出てくる様々な行動が、君たちの周りの友達に良い影響を及ぼしているとなれば、どんだんやっただ方がいいなって思いませんか？

先生は教育委員会で勤務していた時、多くの学校で話す機会がありました。話が終わったあと、時々いただくものがあります。あの時の音は、瞬間、とてもうれしいものですし、お互いに感謝の気持ちを表せるという点では、音を一緒に聴くと幸せになります。

拍手です。話を終えて、お互いにやりきった、頑張った、ではありませんが、最後に拍手をいただけるのは、講師をしていて嬉しい瞬間でした。お互いを承認し合える時間でもあり、更にこの先のお互いの幸せと発展を願うような合図のように思います。「自然に出てくる拍手」には、本当に自信をいただきました。全校集会などで生徒の皆さんから拍手をたくさんもらうとき、いつも感謝の気持ちが湧いてきます。自然にみんなが感謝をしあえた、喜びを分かち合えた証なのかもしれませんね。

幼児児童生徒の河川水難事故防止について

このことについて、教育委員会生徒指導・教育相談課(文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課)より連絡がありました。現在、新型コロナウイルス感染症対策から、比較的密を避けられる屋外の河川を利用する機会が、例年に比べて増加することが考えられます。また、ゴールデンウィーク及び雨の多くなる5月以降にかけて、河川水難事故が多発することが懸念されます。つきましては、下記を参考にご家庭でも気を付けていただきますようお願いします。

① 河川水難事故を防ぐには

- 河川が氾濫してからでは遅いので、早めに避難すること。
- 避難が遅れた時には、建物の高い場所に避難すること。
- 川の様子が急変する前兆(山鳴り・増水、水の濁り、流木・減水・腐った土や火薬のようなど)があれば、避難すること。

※河川水難事故は毎年多発している。

② 河川で遊ぶときには

- 大人と一緒に行く。生徒だけでは遊びに行かない。
- 必要な道具(ライフジャケット・運動靴・ヘルメット等)を準備する。
- 行き先の天気を調べていく。大雨注意報・警報が出ている場所には行かない。
- 遊泳禁止区域等、危険箇所では決して遊ばない。

釣りやキャンプなど
特に気を付けよう！